

地域 コーディネーターリーダー 研修会

目的1

子どもを育む地域力を高める視点に立ち、地域内のコミュニケーションやネットワークの活性化を目指し、地域で核となる人材を育成する。

目的2

受講者同士の情報交換を通して、今後の活動への意欲向上と活動の幅を広げるきっかけづくりをする。

子どもを育む地域の仲間たち

マイスクール児童館

学校支援地域本部

放課後子ども教室

P T A

児 童 館

学 校

市民センター

社 会 学 級

学びのコミュニティづくり推進委員会



年に2回の研修会

企画員紹介

私は、生き生き中山っ子教室でコーディネーター、中山小学校学校支援地域本部SVとして活動しています。放課後教室では、開設時より地域の方を講師に様々な体験教室を企画運営しています。今年は7月に再開し、活動できる嬉しさを感じています。支援本部の活動で児童による読み聞かせがあります。こどもぽけっとの活動も5年目に入り、4年以上の31名が登録しています。コロナ禍で感じるのは「つながり・やりがい」を求めている児童の姿です。

4年前、地域コーディネーターリーダー研修会企画員に加わりました。不安な気持ちで出席した企画員会で現在の仲間と出会いました。地域で活動する方の事例発表、名刺交換会等が開催されました。情報を共有し互いの活動を認め合える仲間が集う場だと思っています。コロナ禍でも出来る活動はきっとあるはずです。皆さんの活動に笑顔が増えますよう、研修会会場でお会いしたいです。



生き生き中山っ子教室
コーディネーター

鈴木 章代さん



事例発表として実際の活動を紹介



成澤さん（六年生）による読み聞かせ

この研修で出会う方々は、皆さんバイタリティに溢れているだけでなく、心しなやかです。研修であってもホッとできたり、元気がもらえたり、気持ちを共有できたり…。初めて会っても初めてではないような「居心地のよい研修」だと自負しております。そして、「『たて・よこ・ななめのつながり』ができる研修」です。

コロナ禍でなかなか思うように活動が展開できませんが、そのような中でも創意工夫で活動を楽しんでいる方々がいます。Aさんのひらめきが、Bさんの救いになることもあるでしょう。そのような「アイデアや思い」をつなぐ役も、本研修は担っております。

一度、フラリと立ち寄ってみませんか？それだけで、心のパワーチャージができるかもしれません。



生涯学習支援センター
主査兼社会教育主事

門脇 美智子さん

企画員紹介

地域と学校を繋ぐ役割のマイスクール活動をする中で、お声をかけて頂いた研修会企画委員会。ドキドキしながら参加してみました。とても温かな雰囲気の中で着実に進んでいく会だと毎回感動しています。勉強になるのです。各学校、地域、立場で活動している皆さまの声をどうやって聞か、どうやってまとめるか、どうやって共有するか…知恵を出し合っています。私達に何が出来るか、自分の事として考えることが大切だと感じます。

「友達100人できるかな?名刺交換大作戦」「P4C体験」「活動事例発表会」など実施してきました。コロナ禍の現在は「コロナ知恵」アンケートをつのり、出し合った知恵とお悩みを生涯学習センターの先生がまとめて下さり、見える形(冊子)になっています。どんな状況下でも必ず出来る事があります。センターの先生方の奮闘に感謝しつつ、繋がって行く喜びを皆さんと一緒に感じて行きたいなと思っています。

大人になってからも良い友達ができますよ!



マイスクール川平
コーディネーター
牧 靖子さん



発表の中から活動のヒントが見つかる事も



異なる立場の人と一緒に考える

せっきーです。

日頃、地元のお祭りや、町内会、地域の活動、児童館や小学校、中学校、市民センターなどとの関わりの中で、たくさんの人の思いと力と楽しむ気持ちが、子どもたちを育て、親世代の私たちを支えてくださっているのだと感じます。

地域コーディネーターリーダー研修会は、そういう地域の中で活躍する人に会いたい、他の地域ではどんなことをしているのか教え合って活動を充実させたい、友だち100人作りたい!ということを目的にたくさん話し合える場を持ってきました。

毎回、皆さんの話したい、学びたい、何かを吸収したいというパワーに圧倒されつつ、自分も楽しませてもらっています。コロナ禍の中でも知恵を持ち寄って乗り越えていきましょう。



榴岡かいわい学びの
コミュニティづくり推進委員会
副委員長
関口 真爾さん

企画員紹介

初めてCL研修会に参加したのは仙台市立高砂中学校PTAとしてでした。仙台市で唯一、津波被害を受けた中学校で、当時の生徒たちは濡れたまま避難された方々を教室のカーテンで拭いてさしあげたり、自らの制服や靴を着用してもらったり、避難所の運営にも積極的に携わり地域の方々のお役に立てたと聞いています。その先輩から『高中魂』を受け継ぎ現在も様々な場面で生かされそのような学校のPTAの一員として色々な経験をさせていただきました。

子どもの卒業とともにPTA活動も終わりましたが研修会に参加したときに積極的な活動の方々のお話を聞いて何かお役にたてればと思い、お声がけいただき2年が過ぎようとしています。主人の転勤で仙台市民となった私には人との繋がりがとても大切に感じられます。特に震災を体験して地域と学校、個々の繋がりが心強い大切なものだと感じております。研修会の中で学び沢山の方の情熱あふれるお話を伺って刺激を受けております。

また鶴巻小学校社会学級に参加させていただいて13年目となり、地域の方々や幅広い分野で活躍されている方に講師をお願いして学級生の皆さんと様々なことにチャレンジしております。中でも「地産地消」をテーマにした食育活動と小1サポーターや学校清掃などのお手伝いはできる範囲で継続していきたいと考えています。子どもの学年も年齢の幅も違いますが何かに取り組んで少しでも心豊かなひと時を過ごし、家庭に戻った時の笑顔を増やしたいと思っています。



元高砂中学校
PTA役員

永井 朋子さん



p4c（ピーフォーシー-philosophy for children）の様子



毛糸の玉を持った人が発言できる

アドバイザー



宮城教育大学
学長特別補佐

野澤 令照さん